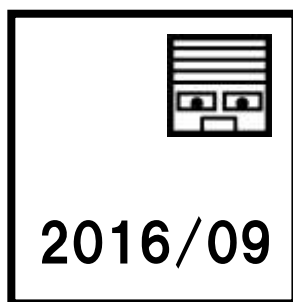




神奈川県立川崎図書館 が所蔵する
 全国有数の〈社史コレクション〉を
 さらに活用していただくため、
 社史の使い方や、社史の楽しさ、
 社史情報などをお届けしていきます。



プロジェクト達成の経緯を読みもの風に
 まとめている社史を、時折、目にします。
 今回はエレベーターの会社の社史を二冊、
 紹介します。

まず、日立ビルシステムによる『HBS
 50年の挑戦』（2007年刊行）。

「メンテナンスに革命をもたらす」「大災
 害から街を守れ」「斜めの魔力に負けるな」
 「超高層ビルの風圧を制せよ」「HBS2
 4時」「人からひとへ」の6つの項目で主
 に構成されています。また、それぞれの項
 目の冒頭にはプロローグ、末尾にはエピロ
 グを設けています。

例えば「大災害から街を守れ」は阪神・
 淡路大震災でのエレベーターの災害対応
 を克明に記録しています。「斜めの魔力に
 負けるな」は、1988年から翌年にか
 けて、熱海のリゾートマンションに傾斜
 角28度のエレベーターを設置した挑戦
 のストーリー。プロローグは「縦のもの
 を斜めにする。たったそれだけのことで、
 これほど想定外の事態が起きるとは」か
 ら書き始められています。1990年代
 前半に行われた霞が関ビルのリニューアル
 を記した「超高層ビルの風圧を制せよ」
 のコラム欄には、誰も停止ボタンを押し
 ていないのに、ある階でエレベーターが

停止する「深夜の怪奇現象」を取り上げ
 ています。原因は新旧の押しボタンの混
 在による静電容量によるものでしたが、
 当時は作業員全員が肝を冷やしたそう
 です。

同書には社員が入社時の出来事や想い
 出を記した「あのころ」というページも
 挿入されています。

三菱電機ビルテクノサービスの『60
 年のあゆみ』（2014年刊行）の前半
 に掲載されている「MELTECヒスト
 リー」は、「技術革新への挑戦」「超高層
 ビル・大規模ビルへの挑戦」「大震災時
 の対応」「人づくり理念と熱教熱学」「世
 界を舞台に」「絵画展『口と足で表現す
 る世界の芸術家たち』の6章で構成さ
 れています。

（裏面に続く）

プロジェクト・エクスプーター

(表面から続く)

例えば「超高層ビル・大規模ビルへの挑戦」では、横浜ランドマークタワー、東京都庁第二本庁舎など4件のエレベーターや空調管理の事例を取り上げています。また「大震災時の対応」では阪神・淡路大震災と東日本大震災での災害対応を記録しています。

章末には「私の街のお客様」というコーナーを設け、同社のエレベーターやエスカレーターを導入している日本各地の建造物等を紹介しています。

この『60年のあゆみ』には、上製本(171ページ)と並製本(111ページ)があります。どちらの前半にも「MELTECヒストリー」は掲載されていますが、上製本の後半は「通史」であるのに対し、並製本の後半は「All for CUSTOMERS」というコーナーになっています。「All for CUSTOMERS」は、11月の品質月間にあわせて、社員から品質活動に関連した「私の主張」を募集し、優秀賞作品をマンガにして社内報に掲載したものです。例えば、お客様にエレベーターの点検作業を「見ていただくことの重要性」をテーマにしたものなど、社史には厳選した7つの作品が見開きのページで紹介されています。

(科学情報課・高田)

2012年から始まった「社史ができるまで講演会」で取り上げた社史の一覧です。

講師の皆様、ほんとうにありがとうございました。

次回(24回目)は11月18日開催の予定で準備中です。

講師の推薦などもお待ちしております。

	社史		社史
1	『日本水産百年史』	14	『三洋電機社史』
2	『内田洋行百年史』	15	『鹿島 創業170年記念誌』
3	『日清食品50年史』	16	『ヤクルト75年史』
4	『アサヒビールの120年』	17	『医学書院の70年』
5	『東京書籍百年史』	18	高島屋スペースクリエイツ社史 『おかげにて135』
6	『花王120年』		
7	チッソ社史『風雪の百年』	19	『小学館の80年』
8	『サカタのタネ100年のあゆみ』	20	『住友重機械工業 プラスチック機械事業部50年史』
9	『コミーは物語をつくる会社です。』		
10	『富士ゼロックス50年のあゆみ』	21	モトックス社史『1st Vintage』
11	『味の素グループの百年』	22	『ヤマトホールディングス100年史』 ※編纂中
12	アクセンチュア社史『KISEKI』		
13	『首都高物語』	23	『TOPPAN FORMS 50th』

●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話:044-233-4537 FAX:044-210-1146

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>